

社会資本総合整備計画 事後評価

三島市における歴史的まち並みの形成の推進

計画期間 平成29年度から令和3年度

静岡県三島市都市計画課

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	三島市における歴史的まち並みの形成の推進													
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	三島市													
計画の目標	中世には三嶋大社の門前町として、近世には東海道の宿場町として栄えた三島市において、歴史的風致維持向上計画を推進し、自然的・歴史的資産を生かした魅力的な街並み景観を整備していくことで、地区を回遊する来街者を増やし、にぎわいの創出や地区の活性化につなげていく。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		48	A	47	B	0	C	1	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	2.08	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28)	中間目標値 (H31)	最終目標値 (H33)
1	歴史的景観を主とする美しい景観の保全・形成に対する市民満足度 市民満足度 市民意識調査で満足と答えた人の割合が4.12ポイント増加	53%	56%	57%
2	総合観光案内所来訪者数の比較 総合観光案内所に来訪した人の数 平成27年度の総合案内所来訪者数(約8.5万人)の1.07倍	85000人	89000人	91000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	三島市	直接	三島市	-	-	街なみ環境整備事業	整備方針策定事業、歴史的風致形成建造物整備(直接)等	三島市						35	3.92	-	
	A16-002	住宅	一般	三島市	間接	個人	-	-	街なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物整備(間接)等	三島市						12		-	
												小計						47		
												合計						47		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
三島市事後評価審査会（副市長及び各部長で構成される審査体制）により審査を実施し、取りまとめられた原案をもとに、2週間公衆の縦覧に供することにより評価を実施。	令和4年11月
	公表の方法 評価完了後、市ホームページに掲載する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	歴史的景観の維持向上のため、歴史的風致形成建造物の整備補修を行ったこと、市内に点在する歴史ある美しい水辺の魅力向上のため、清住・水の苑緑地回遊歩道整備にて、水辺への回遊ルートに案内板等を設置したことにより、歴史的景観を主とする美しい景観の保全・形成に対する市民満足度が向上した。 総合観光案内所来訪者数は、令和元年度に88,170人まで増加してきたものの、新型コロナウイルス感染症対策で緊急事態宣言による全国的な行動制限や外国人観光客の入国制限等が実施され、観光客が減少したことにより、令和2年度には38,798人にまで減少（減少率56.0%）したが、令和3年度には47,468人まで回復（回復率22.3%）し、令和4年度上半期は37,000人まで回復（回復率63.5%）した。 また、観光交流客数では、令和元年度から令和2年度にかけて52.5%減少し、静岡県全体の観光交流客数の減少率43.3%と比較すると、より新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けた。しかし、新しい生活様式（ウィズコロナ）となった令和3年度は、県全体の観光交流客数の回復率が令和2年度比15.1%増に留まっているのに対し、市の観光交流客数は令和2年度比30.7%増と倍以上の非常に強い回復傾向にあり、これは、これまでの事業効果等も後押ししているものと考えられる。 令和4年度になり、入国制限の緩和や全国旅行支援の再開等により、総合観光案内所来訪者数の令和4年度上半期実績で既に令和3年度の年間来訪者数の8割に達しており、コロナ禍が続く中でも、更なる回復が見込まれる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	既存のアクセス性、子育て環境、生活利便性、都市の発展性などに加え、源兵衛川に代表される美しい水辺の魅力などが評価され、中心市街地である広小路町は民間事業者による本当に住みやすい街大賞にて令和3年に県内1位を受賞するとともに、同年の三島市内への移住者数が県内で最多となった。
特記事項（今後の方針等）	
三島市における歴史的まち並みの形成の推進の第2期計画（令和4～6年度）にて、引き続き、歴史的風致形成建造物等に対する間接補助事業を予定している。第1期計画で整備した歴史的風致形成建造物や映像コンテンツ・観光案内看板等の積極的な活用とあわせて、第2期計画の事業効果を高めていく。 また、三島市歴史的風致維持向上計画の推進として、令和4年度に策定する史跡山中城保存活用地域計画に基づく事業実施、地域文化財に係る記録作成・啓発事業を予定している。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	57%
	最終実績値	57%
2	最終目標値	91000人
	最終実績値	47468人
		総合観光案内所来訪者数は、令和元年度に88,170人まで増加してきたものの、新型コロナウイルス感染症対策で緊急事態宣言による全国的な行動制限や外国人観光客の入国制限等が実施され、観光客が減少したことにより、令和2年度には38,798人にまで減少（減少率56.0%）したが、令和3年度には47,468人まで回復（回復率22.3%）した。